

柳川郷土研究会
会誌「水郷」付録

すいきょう

瓦版

発行所 柳川郷土研究会
柳川市本城町 113-1
発行人 武松 豊
編集責任者 金子俊彦



土竜(もぐら)の唄き

中学の三年頃だったと思う。戦時中のこと模型飛行機作りが盛んだったが肝心のゴムが店から姿を消していた。久留米にいかばと友人と自転車で出かけた例に洩れず何処の店にもなかった。仕方なく篠山神社に御参りして帰ろうとペダルを踏んだところ、ごく小さな模型飛行機店を発見した。私が方言丸出しで「もし、ゴムば拝領」と言って店内に入るとそこには腰がコの字に曲がった老人が掛け軸の書を書いておられた。きりりとした顔になり「拝領の拝は天拝山の拝、領は領主様の領、拝領とは領主様から物を頂戴することでござるぞ」と言い「おい娘、一番上等のゴムをこの人達に頒けてやりなさい」「とところで貴方達は何処から来たなさった」「柳川です」と答え意気揚々と帰ってきた。武家の生き残りだったと思うが、私にとっては忘れられない思い出である。かねて私は「投資が0で最大の利益を得られるのは言葉使いを含む礼儀である」といつている。

(土竜)